

パンデミックのもとでの 英国ユナイト労組のたたかい



英国ユナイト労働組合
書記次長

ゲイル・カートメイル

英国の新型コロナウイルス感染 拡大

2020年3月中旬、COVID-19のパンデミックが英国を襲った。「キーワーカー（市民生活維持に不可欠な職種）」の職場以外、すべてが「ロックダウン（封鎖）」された。その際のメッセージは「ステイホーム、いのちを救おう、NHS（公的医療サービス）を守ろう」だった。英国で言われている「キーワーカー」には、医療介護、ソーシャルケア、運輸、エネルギー、電気・水道・ガスなどの公益事業、食品流通、小売などに従事する労働者が含まれる。

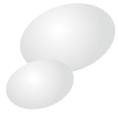
ユナイトは、政府の各大臣と各省庁との交渉の中心で、休業補償の導入、雇用の確保、すぐさま貧困に陥らないための措置、大量失業の回避などで極めて強い影響力を発揮した。また各労働組合は、各産業固有のより安全な労働手順、医療用個人防護具といった重要課題に関する政府協議にも関わった。英国では保守党政権が数十年かけて労働組合の権利を攻撃し、労働組合を見下す態度に終始してきたため、こうした協議に労働組合が関与することは重要な発展だった。一連の労働者と労働組合の権利への攻撃で「社会対話」の名残は

既がない。しかし、労働組合運動は英国最大の自主的運動体であり、ユナイトはまさに誇り高い「たたかう労働組合」である。

労働組合で声を上げる

NHS をととして公的医療サービスを提供し、高齢者や弱者を世話し、道路を清潔に保ち、商店を開け、エネルギー、電気、ガス、水道の供給を確保するユナイトの組合員に対する人々の理解と感謝が広がっている。一方で、NHSの医療・介護労働者、バス運転手、小売店の店員などがCOVID-19ウイルスの犠牲になった。数ヵ月間にわたって毎週木曜日の夜、市民は自宅の外で、キーワーカーに拍手を送り敬意を表した。

ユナイトは、なぜケアワーカーがこれほどの「低賃金」の「低スキル」の労働者にされてきたのかを社会に問うた。最初のロックダウンの際、ユナイトの地方自治体部門はSNSを利用した賃金キャンペーンにとりくみ、極めて強い支持が集まった。このキャンペーンの成功により、国民的支持が明らかになった事で、活動家は自らの職場で賃金改善運動にとりくむ自信を得た。



労働組合の声と影響力の維持

感染拡大が一旦落ち着き始めると、英国政府は労働組合に対する妨害を始めた。ユナイトが仕事と賃金を守るためのより長期的な措置を求めた時が顕著だった。ユナイトにとって自営業者への助成金（110万人の自営業者が建設業とされる）、また労働者への休業補償金に多くの財政的支援を獲得することが重要な課題だった。

しかし、急増する余剰人員の解雇や数十万人規模の一時帰休という厳しい状況を受けて、政府は再び労働組合の要求を受け入れた。労働組合の運動でドイツの制度に類似の、しかしはるかに小規模の措置を導入した。ここでもまた、労働組合の姿、運動が可視化された。

私たちは、大量失業が発生すると予測している。TUC（イギリス労働組合会議）とユナイトは、政府協議において懸命に要求を主張し、すべての産業部門を網羅する長期的な措置を求めてねばり強くたたかった。



組合員のかかわり

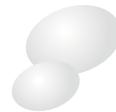
キャンペーンの立案、また政策立案や交渉指導に労働組合活動家が参加する機会は、Zoomなどのオンラインツールによって著しく増加した。オンラインを利用し、より多くの組合員に向けて教育訓練を提供する可能性は高まっている。

数十万人の労働者が賃金、雇用、安全に対する切実な問題を抱えており、職場の団体交渉と組合員個々を代表する点の両方において、ユナイトの職場活動家の役割はこれまで以上に重要になって

いる。こうした活動はすべて、ソーシャルディスタンスを維持しつつ行われている。

2020年1月から8月末までに、ユナイトに新規加入した労働者は9万1612人である。19の産業部門のうち、組織拡大に関する上位5部門はサービス部門、民間航空輸送部門、食品・飲料・農業部門、医療・健康部門、建設部門である。

人口統計学的に興味深いのは、たとえばユナイトの金融部門・銀行員の主要な新規加入者層は青年であることだ。医療・健康部門も同様で、51歳以下の組合員数は純増、51歳以上は純減である。建設部門の新規加入組合員は、見習い労働者と熟練労働者に偏在している。



新たな挑戦 — リモートワーク、失業、不完全雇用

多くの労働者は「リモートワーク」に移行しつつある。感染レベルが上がったため、労働者を職場に呼び戻そうという政府のとりくみは頓挫。在宅勤務が可能な労働者は在宅で、という強い世論によってくつがえされた。

パンデミック下の成長分野である宅配は、多くの場合、労働時間に事前の定めのないゼロ時間契約などの個人の「不安定雇用」である。

ユナイトの全国組織化局は、一時帰休者を次々に解雇しているブリティッシュ・エアウェイズでのとりくみのように「組合員を守るために」活動している。また、未組織労働者の分野を特定した「組織化キャンペーン」は、労働安全の違反等との関わりのなかで展開されている。全国組織化局は、現在「リモートワーク」が標準になっている分野における未組織労働者の労働組合へのアクセスと団結権、また団体交渉などについて組織化戦略を検討している。

大量失業 — つながり続ける ユナイトと組合員のきずな

パンデミックは当面終息せず、経済的損失が続くことから、今後少なくとも10万人のユナイトの組合員が余剰人員として一時帰休になってしまいうだろう。ユナイトはそれら組合員の組合費を減額し、「争議支援基金」を取り崩して拠出することによって、組合員としてユナイトに在籍できるようにした。彼らが支払ってきたこれまでの拠出の一部は、労働者が仕事に復帰するための救済に充てられるだけでなく、同じ産業で働く同志たちとのつながりを維持するための実際的なサポートにも充てられている。

私たちはすべて、 オルガナイザーである

全体的にみると、今年はこれまでのところ、ユナイトの組織人員に大きな変化はない。

一時帰休で組合を離れる人がいる一方で、労働者の安全、雇用、賃金などの課題でユナイトの活動がより可視化、注目され、ロックダウン以降、多くの産業部門で新規加入者が増大した。

私たちの挑戦は、この勢いを堅持し、組合員と職場代表を増やすためのターゲットを見出し、未組織の環境関連「グリーン」部門の組織拡大にとりくむことだ。組織拡大にとりくんだところで組合員が増え、より多くの活動家を迎え入れていることは、疑う余地がない。ユナイトは、労働組合役員が組織化により多くの時間を費し、既存の支援方法を改善し、リストラされた個々の組合員に対する支援を検討している。

デジタル化したとりくみのかなめは、労働組合

を信頼して賢く他人とつながろうとする組合員であり、組合員に関わる課題、とりわけ職場の課題である。意味不明のスローガンや組合サービスとしての保険の勧誘では、組合員とのアクセスを失ってしまう可能性がある。

私たちの政治的メッセージは、具体的にすることで効果的に伝わる。たとえば「多くが自営業者（一人親方）である建設労働者は、パンデミックの影響が最も深刻だ。だからユナイトは、建設産業を変革すべきだと主張している。あなたは直接雇用され、建設業界があなたのスキル向上にお金を出して、あなたのスキルが変化に対応できるようにすべきだ」と訴える。そのために「ユナイトに加入しよう」と切り出す。

私たちは一人ひとりがオルガナイザーであり、草の根の組合活動家は最高の組織拡大担当者である。パンデミックに対する最も高い不当な代償の支払いを労働者階級が強いられることに反対するとともに、私たちは「ユナイトの組合員を守るために」たたかって、勝利する。

ユナイトの公約は、安全、雇用、賃金を守るためにたたかうことだ。この公約は若い労働者をユナイトに引き付けた。そして私たちの集団的な強さは、若い労働者の集団から生まれている。新世代の労働組合員を育成し続けることは、ユナイトが最も優先する課題のひとつだ。

（翻訳＝全労連国際局・布施恵輔）

Unite The Union= ユナイト労組とは
ユナイトは、英国とアイルランドの国内すべての民間および公共部門の労働者を組織している。ユナイトは英国とアイルランドにおける最大の労働組合で、英国労働党に加盟し、TUCの主要メンバーである。多産業にまたがる強い国際的なきずなは、平和と正義を求めてたたかうすべての労働者との連帯とともに、長年にわたって発展してきた。